

## ニチイキッズうえき保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～3月1日（金）
	実施方法	自己評価を行い、課題について話あった。
保育施設の評価	評価日	2022年3月6日（水）
	実施方法	一年の課題を見直し、改善策を話し合い、次年度に向けての保育園の目標・課題を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶを念頭におき、製作や遊びなどを工夫しながら、おもいっきり遊べる環境を整えていった。給食もおもいっきり楽しんで食べられるように、「おいしい」という気持ちを共感し、みんなで食べられる環境を整えることができた。
子どもの発達援助	子どもの発達段階をしっかりと把握し、その子に合わせた対応ができるように、全職員が一人一人に対する対応を職員会議やMTで話し合い、同じ対応ができるようにした。
保護者に対する支援	子どもの様子を連絡帳だけではなく、口頭でも日々伝え、保護者と一緒に子どもの成長を喜ぶことができた。担任だけではなく、全職員が話やすい雰囲気を作ることができ、保護者とのコミュニケーションが取れていた。
保育を支える組織的基盤	職員会議やMT、朝礼、終礼などで全職員への共有事項をしっかりと確認し合い、保育や食育、行事などをしっかりと計画することができ、一つ一つ全職員が協力して行うことができていた。

総評
新年度が始まる前に職員会議やMTで帳票の確認や行事、役割分担等を決めることができ、職員が同じ方向性を持って保育を進めていくことができた。必要に応じて、マニュアルの見直しや、園内研修を通して、専門的な知識、技術習得をおこなっていった。全職員が一人一人の子どもの姿をしっかりと見て、ヒヤリハットの共有も行っていたため、子どものケガを未然に防ぐことができていた。来年度も子どもが元気に過ごせるように、全職員での共有事項をしっかりと確認しながら、保育を進めていく。